

6月より渡米して4カ月が経過し、8月20日より University of Illinois at Urbana Champaign (UIUC) での秋学期の授業が始まりました。楽しい事は多いですが、自分の英語能力の理想と現実のギャップに毎日落ち込んでいます。最近、カフェでホットコーヒーを注文したつもりが、ホットチョコレートにホイップクリームがのった飲み物が出てきました。しかも2回連続です。渡米後4か月経つ今の今まで何十回と通ったカフェでそんなことは一度もなかったのですが、そのような情けない状況にすっかり英語を話す自信を無くしてしまった今日この頃です。

本報告書では、現在履修している科目と語学学校での英語学習を通じて感じた事を報告します。



秋学期に履修する科目

秋学期の履修科目

Subject	Hours	Title
ESL 114	3 hours	Intro to Academic Writing
KOR 201	5 hours	Elementally Korean I
AE 321	3 hours	Aerospace Structure I
AE 451	3 hours	Aeroelasticity
TAM 470	3 hours	Computational Mechanics
17 hours in total		

秋学期は上記の表に示した計 17 時間分の科目を履修することにしました。今学期の目標は、MATLAB による数値計算の手法を身につける事と構造力学について理解を深める事です。

どの工学科目も私がずっと勉強したいと思っていたトピックを扱っており、どのクラスも私が最も大学に望んでいた授業体系で、数学的リテラシーを必要とする授業であるため、とても楽しいです。しかし、私の英語の貧弱な語彙力・表現力では満足に参加できていないのが現状です。ノートをとる事に精一杯で、同時に説明を聴いて授業内容を理解するということできません。毎日、力の無さを痛感させられています。現状から推測するに、残り3カ月の秋学期間はずっとこのような日々が続くのだろうと踏んでいます。自分の不甲斐無さには全く納得がいかないのですが、工学の勉強を第一にイリノイに来たので、現在は、英語に囚われ過ぎずに目の前にある課題の取り組みを通じて、授業ノートを見直し、教科書をじっくり読み、焦らずに自分のできることから順番に消化していこうと、時間をかけてのんびり勉強しています。

また、韓国語(KOR)と英語(ESL)の授業も履修しています。韓国語のクラスは進度がとても速く、毎日勉強する必要があるので、UIUC の語学プログラムの厳しさが身に沁みてよくわかります。

Intensive English Institute (IEI)の授業

Intensive English Institute (IEI)は UIUC の英語学校です。6月上旬から8月上旬の夏季に IEI に通っていた学生の多くは、将来アメリカの大学での就学のために英語の学習をしている人達でした。IEI は学生の目的にみあった授業を提供するように取り組んでいます。

私が IEI で学んだクラスのメンバーの半数以上が UIUC 等の大学や大学院へ入学許可を得ている人達で、私を含め、彼らも就学の準備期間として IEI の夏季プログラムを利用していました。そのため、私のクラスでは、プログラムの始めに、IEI の授業はアメリカの大学での学業を目的とする人達のために提供するという事を IEI が約束し、実際、授業の内容は学生の目的に沿うように組まれていました。私の最も印象に残っている事は、学生の質問に対して時間を費やすことを惜しまない IEI の教員達の姿勢です。時には学生達の質問で授業の半分以上が費やされることもありましたが、それらのすべては、学生の要求に応えようとする IEI の教育体系に他ならないと思いましたが、IEI は学生の要望に対して非常に真摯に伝えてくれたと思います。学校が学生の要求に合わせて、授業の内容を柔軟に対応させる点は、学生は教育の消費者であるという欧米の考え方に基づいていると感じました。この考え方は、目的志向の強い学生が多く集まる IEI に浸透しているようです。

KIT の英語科目

KIT の英語科目も IEI と同じ様に学生の英語の学習目的に沿った授業内容にすることが重要だと思います。現在の KIT の英語科目は学生の英語の学習目的に沿っているのでしょうか？英語科目の学習支援計画書によれば、達成目標のおおよそはビジネスにおける英語でのコミュニケーション能力を身につけることです。しかし実際は、就職活動ですらアピールできない程の英語力しか身につけられないのが現状だと思います。KIT の学生に限らず他の多くの学生にも言えることだと思いますが、一番の原因は、KIT の学生の多くは英語をビジネスにおけるコミュニケーションの手段として考えていないため、コミュニケーションのための英語の勉強をせず、TOEIC や TOEFL のための英語の勉強をするからだと思います。英語の学習目的について私を例に挙げると、私が学部生の頃の英語の学習目的は、就職活動でアピールするために TOEIC でハイスコアをとることでした。また、私以外にも同様の考えを持っている友人が何人かいました。そのような学生達にビジネスコミュニケーション能力を身につけるための授業が英語運用能力向上のために効果的だとは思えません。実際、現在開講されている英語の選択科目は、大多数の学生の英語学習の目的に一致せず、魅力を感じないため履修している学生は少数なのではないのでしょうか？また、自ら学ぼうにも継続して英語の勉強に取り組めない学生がいることも確かだと思います。したがって、そのような学生達にとって有用な英語学習の場を提供するために、英語学習の意識調査として学生に英語学習の目的についてアンケートを実施し、学生の英語学習の目的に沿った内容になるように、現在の英語科目を見直すことが必要なのではないかと思いました。

以上で9月分の留学報告とさせて戴きます。

KIT の学生で UIUC へ将来留学を考えている人、留学に興味を持っている人などで、アメリカでの生活や費用の事、UIUC での授業の事などについて知りたいことがありましたら遠慮なく連絡ください。相談にのります E-mail : yamazakik@hotmail.com